

特

集 救急医療を学ぶ

9月9日は「救急の日」です。この機会に、救急医療の正しい知識を身に付け、救急車や救急医療を上手に利用しましょう。
問い合わせ／健康づくり課健康管理担当（内線2656）



救急出動の現状

埼玉県中央広域消防本部（鴻巣消防署）及び市内の各分署の救急出動件数は、平成26年が4,525件、平成27年が4,616件と、年々増加傾向にあります。

平成27年中に搬送された方の事故種別の状況は、急病が2,717人（66%）で最も多く、次いで一般負傷が546人（13%）、交通事故が457人（11%）となっています。年齢区分搬送人員では、全体の56%が65歳以上の方です。

鴻巣消防署と市内の各分署には、救急処置ができる機材及び装置などを搭載した高規格救急車が配備されていますが、救急出動件数の増加は、本当に救急を要する方への対応が遅れ、救命率に影響が出るおそれがあります。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急車の呼び方

◎ゆっくり落ち着いて

119番通報をされる方は、早く救急車に来てほしいという気持ちから慌ててしまいがちですが、出動の際には、まず場所を特定することが必要となります。そのため、ゆっくりと落ち着いて係員の問い掛けに答えることが重要です。救急要請の流れについては、左記をご覧ください。

◎救急車のサイレンについて

119番通報の際に、サイレンを鳴らさないで来てほしいというお願いがありますが、救急車は安全かつ迅速に現場に到着できるように赤色灯をつけ、サイレンを鳴らして走行するように法律で義務付けられていますので、ご理解ください。

◎通報した後は

119番通報後は、救急車が到着するまで現場にいて、サイレンが聞こえたら手を振って合図してください。



救急要請の流れ

- 1 119番に通報し、救急であることを伝える。
- 2 救急車に来てほしい住所を伝える。
住所は必ず市町村名から伝えてください。住所が分からないときは、近くの建物や交差点など目印になるものを伝えてください。
- 3 具合の悪い方の症状を伝える。
誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えてください。
- 4 具合の悪い方の年齢を伝える。
分からないときは、「60代」のようにおおよそで構いませんので伝えてください。
- 5 あなたのお名前と連絡先を伝える。
場所が不明な時などに問い合わせることがありますので連絡可能な電話番号を伝えてください。



こんなときには 119番

どんなときに救急車を呼ぶべきか判断に困ることがあると思います。下記の症状が見られるときには、すぐに119番通報をしましょう。

大人



【顔】

- 顔半分が動きにくい又はしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

【腹】

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

【頭】

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

【胸や背中】

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、又は圧迫されるような痛みが2分～3分続く
- 痛む場所が移動する

【手足】

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障がい

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても意識が戻らない

けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

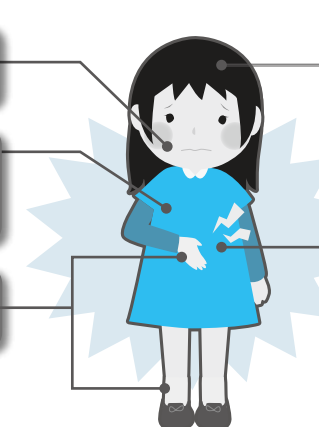
- 食べ物のをのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで意識がない

事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

その他、いつもと違う場合、
様子がおかしい場合

小児 (15歳未満)



【顔】

- くちびるの色が紫で、呼吸が弱い

【胸】

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

【手足】

- 手足が硬直している

【頭】

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

【おなか】

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

意識の障がい

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても意識が戻らない

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

飲み込み

- 変なものを飲み込んで意識がない

事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

生まれて3か月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

その他、いつもと違う場合、
様子がおかしい場合



いざというときのために

救命処置の手順を覚えましょう(心肺蘇生法とAEDの使用)

突然の事故や病気により、意識障がい、呼吸停止、心停止等に陥った傷病者は、救急車が到着するまでのわずかな時間に、どれだけ適切で迅速な手当が施されたかが重要です。

もし皆さんが現場に居合わせたとき、速やかに心肺蘇生を行えるように手順を覚えましょう。

1 反応(意識)を確認

傷病者の肩を叩きながら耳元で呼びかけて反応を確認

反応なし

2 119番通報と協力者への依頼

助けを求め、協力者が来たら「救急車を呼んでください」、「AEDを持ってきてください」と具体的に依頼

3 呼吸の確認

胸や腹部の上がり下がりを見て、普段どおりの呼吸があるか確認(10秒以内で判断)



傷病者を回復体位にし、救急車を待つ



呼吸あり

呼吸なし

4 胸骨圧迫を開始

- 胸の真ん中にある胸骨の下半分に片方の手のつけ根を置き、もう一方の手を重ねて置く
- 両肘をまっすぐに伸ばして、手の付け根に体重をかけ、真上から垂直に傷病者の胸が約5cm(小児は胸の厚さの約3分の1)沈むまで圧迫する
- 1分間に100回~120回の早いテンポで連続して圧迫する



5 人工呼吸を開始(困難な場合は胸骨圧迫のみ行う)

- 30回の胸骨圧迫終了後、人工呼吸を2回行う
- 片手を額に当て、もう一方の手の指をあご先に当て、あご先を持ち上げて気道を確保
- 額に当てた手の親指と人差し指で傷病者の鼻をつまむ
- 口を大きく開けて傷病者の口を覆い、空気が漏れないようにして、息を約1秒かけて吹き込む
- いったん口を離し、同じ要領でもう1回吹き込む



4 胸骨圧迫と5 人工呼吸の継続

6 AED装着

- ケースからAED本体を取り出し、電源を入れる
- 音声メッセージの指示に従って操作する
- 傷病者の衣服を取り除き、胸に電極パッドを貼る



7 心電図の解析

自動的に心電図の解析が始まるので、AEDの操作者は、誰も傷病者に触れないように注意を促す



8 電気ショック実施

- 音声に従い電気ショックを1回行う
- このとき、AEDの操作者は周囲に注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認してからショックボタンを押す



電気ショック
必要あり

電気ショック
必要なし

ただちに4 胸骨圧迫から心肺蘇生を再開

- 心肺蘇生法は救急隊や医師に引き継ぐまで継続する

※詳細は、埼玉県中央広域消防本部ホームページをご覧ください



救急ダイヤル等のご案内

休日や夜間の診療、急な受診が必要になったときなどにご利用ください。なお、電話相談は医療行為ではなく、電話でのアドバイスにより、相談者の参考としていただくものです。あらかじめご理解のうえ、利用をお願いします。

■埼玉県大人の救急電話相談（#7000）

休日・夜間の急な病気やけがに関して、看護師の相談員が医療機関を受診すべきかどうかなどをアドバイスします。平成28年7月から、日曜日・祝日・年末年始の相談時間を拡大しています
平日・土曜日／18時30分～22時30分
日曜日・祝日・年末年始／9時～22時30分
電話番号／#7000又は048-824-4199

■埼玉県救急医療機関案内

救急車を呼ぶほどではないが、救急に受診が必要になったときや日曜日・祝日・夜間等にどこの医療機関で診てもらえばよいかわからないときなどにご利用ください
電話番号／048-824-4199（24時間対応）

■平日夜間診療（内科・小児科）

診療日時／平日（年末年始を除く）19時～22時
医療機関／鴻巣市夜間診療所（鴻巣保健センター内）
電話番号／543-1561

■埼玉県小児救急電話相談（#8000）

休日や夜間の急な子どもの病気はどう対処したらよいか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷ったときに看護師が電話で相談をお受けします
月曜日～土曜日／19時～翌朝7時
日曜日・祝日・年末年始／7時～翌朝7時
電話番号／#8000又は048-833-7911

■鴻巣市医師会救急ダイヤル

下記に電話すると、その日の担当病院に直接つながります。救急車を呼ぶほどではないが、医療機関に受診したいときなどにご利用ください
電話番号／543-9900（24時間対応）

■休日診療（内科・外科）

診療日時／休日（日曜日・祝日・年末年始）9時～12時、13時～17時
医療機関／当番医制（北足立郡市医師会ホームページ又は広報かがやきお知らせ版に掲載）※診療内容等でご不明な点は、事前に当番医にご確認ください



かかりつけ医を持ちましょう！

健康について困ったことを気軽に相談できる地域の身近な「かかりつけ医」を持ちましょう。病気の早期発見・早期治療ができ、必要な時には専門の病院を紹介してくれます。

＝上級救命講習会を開催＝

AEDを用いた心肺蘇生法等の応急手当講習を受講することで、大切な人を救える可能性があります。ぜひご参加ください。

とき／9月17日(土)9時～17時(受付＝8時30分～)

ところ／北本消防署北本東分署(北本市宮内7-240)

対象／(1)鴻巣市・桶川市・北本市に在住又は在勤の中学生以上の方

(2)(1)に該当する方で、以前に上級救命講習を受講し、概ね2年が経過する方

定員／15人(先着順)

内容／心肺蘇生法(成人・小児・乳児・新生児が対象)、大出血時の止血方法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法、AEDの使用法 ※講習修了者には修了証を交付

費用／無料

持ち物／筆記用具・昼食

その他／当消防本部ホームページの応急手当WEB講習受講者は、受講時間が1時間免除されます。受講済みの方はお問い合わせください。

申込み・問い合わせ／8月15日(月)～9月10日(土)に直接又は電話で桶川消防署(☎048-773-1190)



今後の
開催予定

【普通救命講習Ⅰ】10月8日(土)、11月19日(土)、平成29年1月21日(土)、2月19日(日)
【上級救命講習】12月18日(日)、平成29年3月19日(日)